

事務改善委員会 報告書



令和4年度

事務改善委員会とは

各部署の**次長級職員等**で構成される**行政経営の旗振り役**を担う委員会です。

事務改善委員会では、次長職が**市全体の幅広い視点・大所高所からの視点**で審議・協議を行うことにより、**実行力をもって**、全庁的な課題を解決しています。

委員会で主に取組んでいることとしては以下のとおりです。

- (1) **事務改善の推進**に関する事
- (2) **職員提案の審査**に関する事
- (3) **行政組織に関し協議**する事
- (4) その他市長が認める事項に関する事

これまでの活動

職員の主体的な事務改善活動を促進するとともに、事務の改善、合理化及び能率の増進に取り組んできました。

令和元年度

- ・ペーパーレス化の推進
- ・スマートインフォの運用決定

令和2年度

- ・会議／打ち合わせのニューノーマル

令和3年度

- ・会議室不足への対応
- ・朝の業務準備行為等の調査・対応
- ・改革改善活動の活発化に向けた検討
- ・業務改善を組織に浸透させる取組みの検討

次ページから、令和4年度の事務改善委員会の取組みについてお知らせします。

01 業務改善メソッド



■業務改善メソッドの作成

これまで事務改善委員会が提案してきた、効率的に働くための具体的な方法を「業務改善メソッド」として集約しました。

■研修での周知

組織全体で効率的に業務を進める必要があることから、各階層級研修等で周知を図りました。

■浸透のための取組み

庁内メールのスマートインフォへの移行や、組織内部研修のペーパーレス化を働きかけ、**事務負担軽減・ペーパーレス化を実現**しました。

スマートインフォへの移行：17通知

- ・ペーパーレス化：約3,500枚
- ・庶務担当の手間の削減：約150時間

組織内部研修のペーパーレス化：4つの研修

- ・ペーパーレス化：約7,000枚
- ・印刷にかかる手間の削減

■職員の認知度

事務改善・効率化のためのアンケート結果
「業務改善メソッドを知っている」52%

日々の業務に従事するにあたり、業務改善メソッドをご活用いただきますようお願いいたします。

02 カイゼン・ボード

■カイゼン・ボード運用開始

改革改善活動を活発化させるための取組みとして「カイゼン・ボード」の運用を開始しました。



全庁の改革改善取組事例数

〈R3年度〉 750件 ▶ 〈R4年度〉 **780件**

■見てみて！マネして！カイゼン・ボード

カイゼン・ボードに蓄積された事例のうち、**全庁的に汎用性が高い事例**について、全庁に周知し、全庁的な業務効率化のための活動を行いました。

全庁周知事例（一例）

文化財保護課	QRコードの活用
デジタル戦略課	引継ぎ状況確認リスト
下水道整備課	メモ帳にプラス機能を「めもぷら」
職員課	年職一斉公募で電子申請を推奨
市民医療センター事務部総務課	情報機器の破壊及び売払い
資産税課	現地調査に自転車を活用

日々の業務において、主体的かつ自主的に改革改善に取り組みましょう。

03 職員提案審査

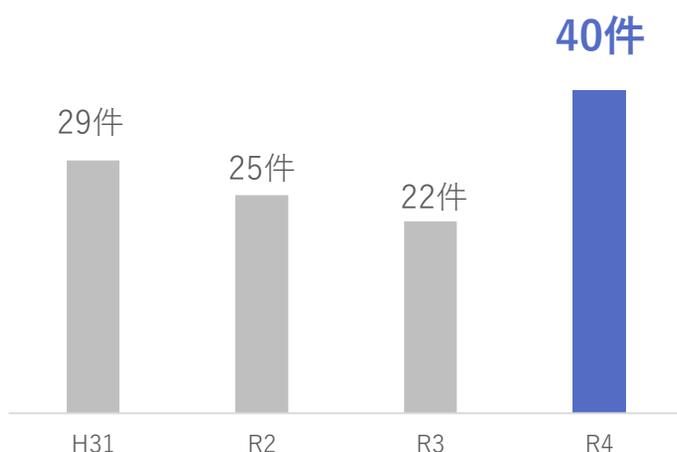


■職員の仕事改善意欲の向上

個人やグループの発想を汲み取る制度である「職員提案」について、今年度は**40件**の提案が提出されました。

提案内容に対する所管課の検討結果が妥当であるか審査を行いました。

〈職員提案提出数の推移〉



■職員提案の実現

審査の結果、提出された40件の職員提案のうち、現時点で**15件**が**実際に実施（実施に向け計画）**されました。

〈一例〉

- ・照明スイッチマップ
- ・スタンディングワークで健康維持&集中力UP
- ・荷物は棚に、スマートに など

職員の仕事改善意欲向上、効率的な行政運営に資することを目的に広く提案を求めています。

04 組織見直し

■組織機構の見直し

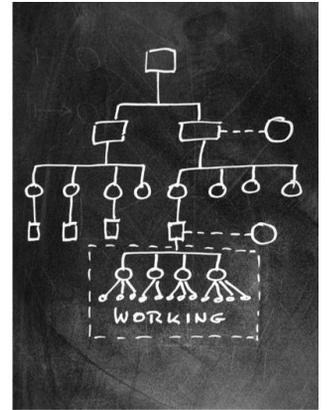
事務改善委員会における協議の結果、令和5年度の組織機構を以下のとおり見直しました。

〔市長部局〕

- ・経営企画部経営企画課内に「**公民連携推進室**」を新設

〔教育委員会〕

- ・教育総務部**生涯学習推進センター**を同部社会教育課の機関及び施設として移管
- ・学校教育部教育センター内に「**教育デジタル推進室**」を新設



05 オフィス改革

■オフィス環境に関する調査

業務効率化や生産性の向上を実現するためには、環境整備も必要であることから、オフィス環境の最適化を目指して、各所属における**オフィス環境に関する調査**を実施しました。

- ・「課題を抱えている」と回答した所属 **52所属**/101所属

・具体的な課題（抜粋）

時間を要する作業が窓口・電話などにより中断されることがある
すれ違うために、十分な広さの通路幅が確保されていない
長時間同じ姿勢で業務に従事している など

■職員の主体的な参加によるワークショップ

新型コロナの影響で、大きく社会が変化したこの機会に、これからの理想の働き方を考え、所沢市の働き方改革の推進・働きやすい環境の整備を進めるため、ワークショップへ参加しました。

今後、事務改善委員会で所沢市の働き方のコンセプトを決定します。